



春風とともに(院長就任のご挨拶)

今年は春の訪れが遅く、寒い毎日でしたがやっと過ごしやすい新緑の季節を迎えています。多摩北部医療センターをご利用の患者さん・ご家族の皆さんにおかれましては常日頃から格段の配慮をいただき感謝申し上げます。

さて、小生 青木は4月1日付けで菊池前院長の後任として多摩北部医療センターに赴任いたしました。前任の都立府中病院～多摩総合医療センター院長として多摩地域の医療に長年かかわってまいりましたが、多摩北部医療センターには初めての勤務となります。広大な敷地で、緑豊かな当センターをより活気のある病院にしたいと思っておりますのでぜひともご支援ください。

個人的なことで恐縮ですが、趣味は“卓球”、専門は“脳神経外科”です。今回は同時に村井副院長の後任には多摩総合医療センターから藤田 明(呼吸器内科の大御所)が赴任いたしましたので青木ともどもよろしくお引き立ていただければ幸いです。

院長 青木 信彦



ニッタクニュース(卓球専門誌)
2010年8号より

「東京都大腸がん診療連携協力病院」の認定について



多摩北部医療センターは本年4月より、「東京都大腸がん診療連携協力病院」の認定を受けました。これは、個々の患者さんの状態に合わせて外科的療法・化学療法・放射線療法・緩和療法を適切に選択または組み合わせるなど、専門的な大腸がん医療を提供している医療機関に対して、東京都が認定したものです。

当院では、外科医・消化器内科医・腫瘍内科医・放射線科医等が各領域で専門性を発揮するとともに、がん性疼痛看護認定看護師を含む緩和ケアチームが、がん患者さんの快適な生活を多職種でサポートするなど、患者さんの立場に立った地道な活動を続けております。

今後も、かかりつけ医の先生方との役割分担を図り診療情報を共有しながら、専門病院としてがん診療の質を高め、引き続き地域の皆様に信頼される病院を目指して努力してまいります。

どうぞ宜しくお願い致します。

副院長 若山 達郎

皮膚・排泄ケアのご案内



私は皮膚・排泄ケア認定看護師として入院中の患者さんの床ずれ予防・対策や人工肛門等を造設された患者さんのサポートを専門的に行っています。皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷ケア、ストーマケア、失禁ケアに関する専門的知識・技術を習得し、認定試験に合格した看護師のことを言います。

当院では平成23年より毎週水曜日午前中に『ストーマ外来』を開設し、病気や事故で人工肛門や人工膀胱を造設した方と、その支援者が安心して生活できるようにサポートを行っています。医師と連携し、術前から術後の合併症対策、日常生活での様々な不安・悩みなどを改善できるよう取り組んでいます。当院通院中の方はもちろん他の病院でストーマを造設された方でも受診して頂けます。また、在宅療養中の床ずれ予防やケア方法などの指導も行いますのでお気軽に外来窓口にご相談下さい。どうぞよろしくお願い致します。

皮膚・排泄ケア認定看護師

上原 真理子

相談窓口直通ご連絡先

042-396-3811 (PHS7245)



公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター（ホームページ：<http://www.tamahoku-hp.jp>）

外来診療時間：午前：9：00～12：00、午後：1：00～5：00（但し、診療科によって異なります）

診療予約受付電話：**042-396-3190・3511**

（受付時間：月～金 9：00～17：00・土 9：00～12：00）

緊急受診のご連絡先：**042-396-3811**